

# 自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2005.8.4 No.5

北海道ボランティア・レンジャー協議会

## ノリウツギの花

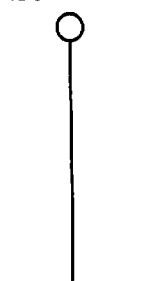
ノリウツギの花が咲いています。北海道では「サビタ」との別名があります。この言葉にはアイヌ語のイメージが浮かびますが、この花をアイヌ語では「ラスパ」と呼びます。サビタは東北地方の方言名です。秋田、青森、岩手では、サシタ、サヒタ、サビタ、サブタ、サワフタ、サンビタ等の方言名があります。これらの意味は、沢沿いに多く生えることによるサワフタ（沢蓋）からきていて、東北地方の人たちが開拓時代に北海道に渡ってきて、サビタ系の名が持ちこまれ、サビタが北海道で通用するようになったようです。

ノリウツギは茎の内皮に含まれる粘液が和紙を漉くときの糊料として使われたところから生まれたようで、関西方面のノリノキ、ネリ、トロロウツギもこの粘液からきています。

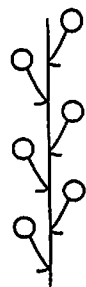
花のつくりは、ご存じのように、装飾花とか飾り花と呼ばれ、結実しない無性花でムダ花です。本当の花は真ん中にあるツブのようにかたまっている地味な花です。

ノリウツギはユキノシタ科のアジサイ属です。学名は *Hydrangea paniculata* で種名パニクラータは円錐花序の意味でシーボルトが命名したものです。ちなみにエゾアジサイのように平たい花を散房花序といいます。（花序とは、花が一定の配列で茎についているつき方、また、ついていいる茎全体をいいます。）

花序のいろいろ



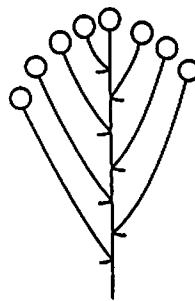
単頂花序  
花茎や枝の先に  
1個の花がつく。



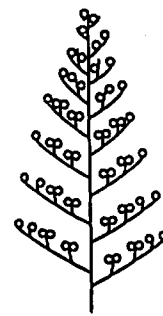
総状花序  
花軸に柄を持つ  
花が多数つき、順  
次咲いていく。



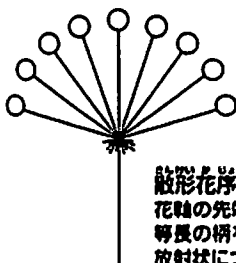
穂状花序  
花軸に無柄の花  
が多数つき、順次  
咲いていく。



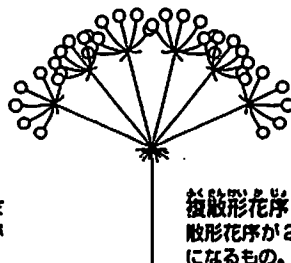
散房花序  
総状花序に似るが下部  
の花柄ほど長く、花序の  
上面が平らになる。



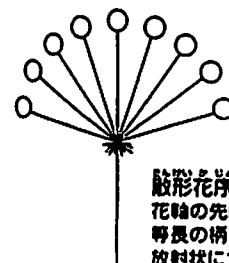
円錐花序  
(円錐状)



散形花序  
花軸の先端からほぼ  
等長の柄をもつ花が  
放射状につく。



複散形花序  
散形花序が2~3段  
になるもの。



散形花序  
花軸の先端からほぼ  
等長の柄をもつ花が  
放射状につく。

(図の引用：写真で見る植物用語 全国農村教育協会)

# 虫こぶ

森の中を歩いていると、いろいろな樹木の葉や枝に、様々な虫こぶを見ることができます。虫こぶは、寄生する種によって色、形、大きさ等が様々で、さまざまな虫こぶ昆虫がいることに驚かされます。

虫こぶとは、植物の葉・茎・芽が異常に肥大していて、その内部に虫が見つかることからきていて、虫こぶ・虫えい（虫癭）と呼ばれるようになりました。（癭とは、こぶ・たまの意味）

ところが、このようなこぶは、昆虫のみが作るのではなく、ダニや菌類・細菌によっても形成されることが判ってきました。そのため、虫えい、ダニえい、菌えい等をまとめて「ゴール」とよぶようになってきました。

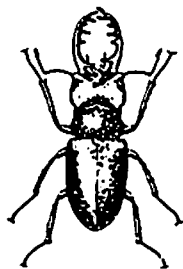
とはいえ、ゴールをつぶしてみると、中から虫がでてくることが多いので、虫こぶについて調べてみました。虫えいを形成する虫の何らかの刺激を受けると、植物の細胞や組織が異常に増殖・肥大します。この刺激の実態や増殖・肥大するメカニズムは現在でも判っていませんが、組織が肥大してこぶをつくるのは虫が成長ホルモンを注入するのではないかとされています。

虫こぶを作る昆虫には、ハエ類、ハチ類、アブラムシ類がいますが、葉や茎、芽の組織を肥大化させ、その中に寄生し、内側の柔らかい組織から樹液を吸収するばかりか、こぶの中は雨や風をしのぎ、乾燥にも耐えられます。特にハエ、ハチの幼虫は乾燥によわいので、虫こぶは生活する上で格好の環境になります。

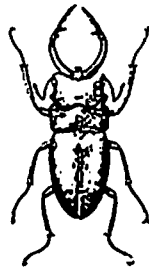
森の中での観察でカラフルな虫こぶに、ちょっと目を向けてみましょう。

## クワガタ類

夏の森には、子どもたちを夢中にさせる昆虫にクワガタ類がいます。この仲間は日本では36種、北海道には11種、生息していると言われています。その中でよく見られるのが、ミヤマクワガタ、ノコギリクワガタ、コクワガタ等です。ハルニレなどの樹液に集まるクワガタ類の生態について子どもたちに語ってください。



ミヤマクワガタ



ノコギリクワガタ



コクワガタ

## 9月の観察会は？

### ●「木の実を探してみよう」観察会

9月11日（日） 10:10~14:30 野幌森林公園 ふれあい交流館 弁当持参

知らぬ間に秋が忍びよってきました。紅葉にはまだ早いですが、樹木や野草にはさなざま実（果実）が見られます。形、色、大きさの違いやどのようにして子孫を増やしていくかの戦略を垣間見るよい機会です。